



## 郡 P 研究大会



十月三十日に、本宮市のネーブルシティもとみやオーブにおいて、安達地方PTA研究大会が開催されました。コロナ禍以来、久しぶりの開催となりましたが、各小中学校のPTA会長、校長が一同に会して日頃の実践を持ち寄り、情報交換をしたり、成果と課題を共有したりするなど、貴重な研修の機会となりました。本校は、菅野陽一会長が二年間に及ぶ本校PTAの組織改編や活動の見直しなどの活動状況をまとめ、紙上発表しました。その概要をご紹介します。

### 【地域・学校の概要】

本校は、昨年百五十周年（明治六年創立）を迎えた歴史と伝統を誇り、安達太良山と阿武隈川に囲まれた豊かな自然に恵まれ、着実に根付いた地域とのつながりを生

文責 本宮小校長 佐久間仁

かした学校である。生徒数四百二十三名、実家庭数三百三十二と、安達地方の小学校では二番目の規模となっている。令和六年度は、教育目標に「考える子・思いやりのある子・やりぬく子」を掲げ、「夢と希望をばぐむ学校」命・感謝・挑戦」を合い言葉に、日々の教育活動の充実に取り組んでいる。

### 【主な実践事例】

本校PTAは、令和元年度の水害による被害やコロナ禍の経験を踏まえ、令和五年度に活動の大幅な見直しを実施しているため、その概要を報告する。

コロナ禍から日常を取り戻しつつある時点で、過去に戻るのか、新たに今後のありたい姿を模索するのかという岐路に立ち、現状の体制や活動に散見される課題を解決していく中で、見直しを行うことは、ごく自然な流れであった。

その際、ここでやらなければもう動けなくなるという危機感もあり、それら課題に対してしっかりと検証を行うため、アンケート等で丁寧に会員の意見を伺い、できる限り議論や検討を経た上で、各委員会及び総会に見直し案を示して、次の事項を決定している。

①役員の選出方法の見直し（電話交渉⇒委員歴に基づく決定通知）

②表彰規程（感謝状）の廃止  
③奉仕作業の一部（プール清掃）を児童の活動へ（学校提案）  
④親子レクの廃止  
⑤バザーの廃止  
⑥PTA広報誌の廃止  
⑦学年PTAの定数見直し  
⑧メディア委員会の廃止  
⑨カルチャー委員会の廃止



これにより、四つの専門委員会が令和七年度には二つの委員会となり、本部役員以外の委員会（地区委員会を除く）の役員数は八十四名から四十二名に減少する見込みである。また、次の事項は継続協議中としている。

①各種協力活動（運動会・ベルマーク集計・鼓笛パレード・南達陸上競技大会など）の担当振り分けの見直し  
②給食白衣点検の方法・手段の見直し

### 【今後の活動に向けて】

今後の活動見直しにおいて、PTAの「すべては子どもたちのために」という理念はそのままに、多様化する価値観や生活様式にしっかりと向き合い、皆で考えることが最も重要であった。その上で、様々な意見を尊重し、保護者と先生方が納得して取り組んでいくことができるよう、持続可能な形を模索したひとつの結果である。

したがって、この見直しは単に縮小というのではなく、むしろポジティブなものだと捉えている。今回の見直しに正解はなく、最終形態でもないはずである。一方で、活動事業の縮小は、子どもたちの（活動）機会の損失に結びつく。それについては、校外活動を含めた地域での取組の中で、工夫していければと思う。今後、引き続き子どもを取り巻く社会の変化に伴い、柔軟に姿を変えていくことが求められていると感じている。

## 朝食を見直そう



十一月十一日から十五日までは、今年度二回目の「朝食について見直そう週間」です。毎日、学校で朝食調べを行います。調べる項目は「①朝食を食べたか②食べ方はどうか（汁物を食べたか）③誰かと一緒に食事をしたか（何回か）」です。一学期に行った調査では、「汁物を食べた」と回答した児童は全体の約半数にとどまっていました。忙しい朝ですが、野菜たっぷりみそ汁や具だくさんスープを一品加えるなど、バランスのとれた朝食の準備をお願いします。子どもたちが元気に一日のスタートが切れるよう、ご配慮をお願いします。